

地球にやさしい環境先進都市をめざして

安城市役所 | S O 1 4 0 0 1 での取り組み

平成14年度の取り組み結果概要

目的及び主な実行手段	平成15年度目標
（１）環境共生都市の推進	＜目標37項目＞
田園景観の継承 ●平成16年度に地球環境米米フォーラムを開催	開催地視察、市民へのPR、実行委員会などの開催
心地よい都市景観の創出 ●平成17年度までにアダプトプログラム里親数17団体	里親数11団体
身近な緑の保全と創出 ●平成22年度までに公共施設緑地面積（都市公園面積含む）21.3㎡／人	公園3か所新設
多様な動植物と共生する水辺環境の創出 ●平成17年度までに多自然型河川改修を1河川	多自然型河川改修1か所
河川・湖沼の水質浄化 ●平成17年度までに公共下水道普及率60%	下水道普及率50%
環境配慮型ライフスタイルの推進 ●平成17年度までに汚泥リサイクル肥料を600トン以上配布	汚泥肥料 年間180トン以上
環境保全型農業の推進 ●平成20年度までに化学肥料、農業の使用量を平成11年度よりおおむね20%低減	リサイクルプラントで「安城いきいきたい肥」支給年間1020トン
（２）環境に配慮した行政サービスの推進	＜目標27項目＞
環境影響の大きい施設での適正な操業、維持管理など（環境汚染の防止）	環境クリーンセンター、リサイクルプラザ、ごみ埋立場など
地球温暖化対策実行計画の推進（省エネ・省資源・グリーン購入などの推進）	温室効果ガスの総排出量（市役所施設全体）年間6676トン以内に抑制
（３）環境に配慮した公共事業の推進	＜目標5項目＞
建設副産物再利用の推進（土、再生砕石、再生アスファルトコンクリートの利用）	平成14年度と同じ
環境配慮型公共工事の推進（熱帯木材製型枠の代替品採用・太陽光発電設備の設置）	1小学校での改修工事
（４）市民・事業者・市のパートナーシップによる環境保全活動の推進	＜目標19項目＞
市民・事業者・市のパートナーシップの形成 ●エコファミリークラブ員を募集し、環境講座を開催 ●環境アドバイザー事業として養成講座を開催し、派遣登録	環境講座1回、養成講座3回
環境情報の共有化（市民からの環境情報の受信） ●まちかど座談会、市政懇談会の隔年開催	まちかど座談会（各小学校区単位20回）
環境教育・学習の推進 ●河川に生息する水生生物の調査 ●市民公開講座、市民大学において環境関連講座を開催	水生生物調査12小学校 公開講座、市民大学講座各1回

安城市役所ほか関連施設からの二酸化炭素総排出量70トン削減（平成10年度比）

安城市役所は、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得し、環境の継続的な保全と改善に取り組んでいます。

平成14年度は、78項目の目標を立て、67項目を達成しました。主な内容は、右表のとおりです。

結果として、平成14年度の安城市役所地球温暖化対策実行計画での目標である温室効果ガスの総排出量28%削減を達成できませんでした。しかし、地球温暖化の原因となる二酸化炭素については、ISO14001を運用している地区公民館・保育園・小中学校などの施設で約50トンの合計70トン以上（炭素換算）削減できました。

平成15年度の主な取り組みについては、新しい環境方針を受けて、上表のとおり4つの柱に基づき計画しました。環境目標は、昨年度より10項目増えて、88項目となりました。

市は、今後とも環境に配慮した取り組みを継続的にを行い、地球温暖化防止に努めていきます。

市民の皆さんもできることから始めて、地球にやさしい環境先進都市を目指しましょう。

問い合わせ▼環境安全課

項目及び主な実行手段		平成14年度目標	平成14年度実績	目標達成	
(1) 環境にやさしいまちづくりの推進					
田園景観の継承 (平成16年度開催の地球環境米米フォーラムに向けての準備)		開催地視察など状況調査4回・PR2回・準備委員会など3回	視察4回・PR5回・準備委員会など4回	○	
心地よい都市景観(環境美化推進)		アダプトプログラムの実施7団体	9団体	○	
身近な緑の保全と創出		公園1か所新設	計画どおり達成	○	
		フラワーロードの整備 全長1.8km	計画どおり達成	○	
多様な動植物と共生する水辺環境の創出		調整池1か所、河川改修1か所	計画どおり達成	○	
		野生生物の調査24回	147回	○	
		下水道普及率45%	46.5%	○	
河川・湖沼の水質浄化 (下水道整備の推進、生活排水対策に関する啓発事業)		下水道事業説明会30回	20回	×	
		【未達成の原因】地区説明会の合理化など(概要説明、接続説明の一本化)			
		廃食用油石けんの配布 年間6000個	計画どおり達成	○	
		環境マップの配布 5000部	5500部	○	
環境配慮型ライフスタイルの推進 (各種啓発事業・リサイクルの推進)		エコッキングレシビ作成・配布 10000部	17000部	○	
		リサイクルステーションの設置及び資源回収2か所	計画どおり達成	○	
環境保全型農業の推進 (リサイクルプラントを拠点とした環境保全型農業の推進)		安城いきいきたい肥の支給 年間1090トン	1111トン	○	
市民・事業者・市のパートナーシップの形成		ボランティアグループによる環境関連講座の開催1回	未開催	×	
		【未達成の原因】市民ボランティアグループに依頼したが、環境関連講座はできなかった			
		地区公民館での環境関連講座の開催 10回	36回	○	
環境情報の共有化 (各種広聴事業の推進)		市長に手紙を出す旬間 10月に1回	計画どおり達成	○	
		市政懇談会6回	計画どおり達成	○	
環境教育・学習の推進		市民公開講座での環境関連講座の開催1回	計画どおり達成	○	
(2) 環境に配慮した行政事務の推進					
環境汚染の防止	ごみ焼却施設の事故・故障の抑制		事故・故障による炉停止ゼロ 1回	×	
			【未達成の原因】井戸ポンプのノイズにより焼却炉の運転停止		
	し尿処理施設からの水質汚濁物質排出抑制		管理基準値(※)超過日数2日以内	超過日数1日(数値は法規制値以下) ○	
地球温暖化対策実行計画の推進	リサイクルプラザの事故・故障抑制		破碎機の刃の交換200本以下	交換190本 ○	
	温室効果ガスの削減	市役所全施設の電気、都市ガス、LPG、ガソリン、軽油、重油、灯油が対象	2.8%削減(平成10年度比)	1.1%削減	×
				【未達成の主な原因】公民館・保育園などの出先機関で平成10年度に比べ設備充実及び利用人数増大によるもの	
省エネ	ガソリンの削減	公用車(専用車は除く)の管理台数削減	2台削減	計画どおり達成 ○	
		低公害車(天然ガス車)導入	3台導入	計画どおり達成 ○	
	冷暖房効率の向上	本庁舎サッシ取替工事	1階外周部分	計画どおり達成 ○	
省資源	コピー用紙の削減	両面印刷・両面コピー・使用済み用紙の裏面利用・会議資料の簡素化	40.2%削減(平成10年度比)	39.8%削減	×
	グリーン購入の促進	環境に配慮した物品の優先購入	グリーン購入 特定調達品目の90%	84.3%	×
			【未達成の主な原因】特定調達品目のなかでグリーン購入の選択肢がない商品があったことによるもの		
(3) 環境に配慮した公共事業の推進					
建設副産物再利用の推進		土再利用率85%	95.9%	○	
		再生砕石利用率90%	94.7%	○	
		再生アスファルトコンクリート利用率90%	95.2%	○	

※管理基準値：環境汚染防止のため、自主的に定めた法規制値よりも低い値